

みえの野鳥



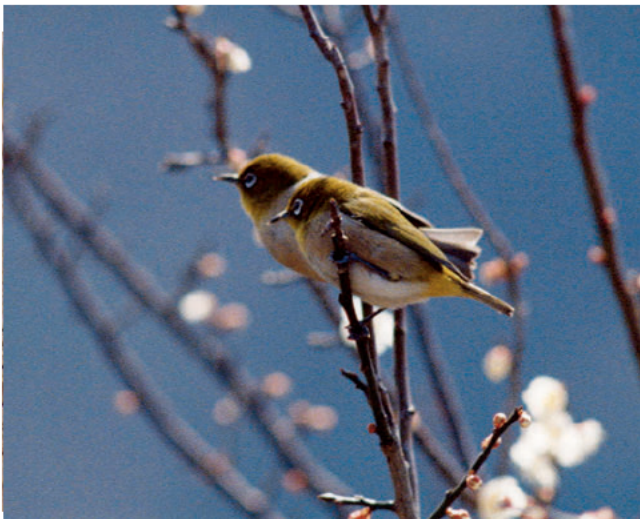
← <アオサギ>

全身が灰色で体長90cm程の大型のサギで、川や池沼、水田、干潟などで生活し、大きな長いくちばしで、魚をはさんだり、突き刺したりして捕らえ、食べます。川の浅瀬をゆっくり歩いていたり、じっとたたずんでいる姿を良く見かけます。



↑ <オバシギ>

全長28cmくらいのシギ類で、春と秋に日本に渡って来て、数十羽の群でいるところを、海岸や河口の干潟で見ることが出来ます。長いくちばしで泥の中のゴカイや貝をつかまえて食べます。



← <メジロ>

全長12cm程度の黄緑色の鳥で、目の周りに大きな白い輪があるのでこの名前がついています。平地や低山の林、特に常緑広葉樹の林に好んで棲息し、昆虫や木の実を食べています。(メジロ科)



↑ <カンムリウミスズメ>

「孫太郎」の愛称で親しまれ、紀伊長島町の町の鳥にもなっているカンムリウミスズメは、日本沿岸や韓国の南部でしか繁殖しない希少な鳥で、国の天然記念物に指定されています。紀伊長島町沖の熊野灘に浮かぶ小島群は、国設鳥獣保護区の特別保護地区に指定されており、全国でも有数の繁殖地となっています。



↑ <チョウゲンボウ>

全長約35cmのハヤブサ科の鳥で、川原、農耕地、原野などの広い空間を飛び回り、上空からネズミや小鳥、昆虫などの獲物をねらい、捕まえて食べます。

(写真提供：日本野鳥の会三重県支部)